

投資のタイミング

あ～あの時に始めていたら、今頃は……。何事も後になれば、既に結果が分かっているので、過去にやっていたら良かった、あるいはやめておけば良かったと判断出来ます。しかし、今はまだ時間は前にしか進みません。いつか「バック・トゥー・ザ・フューチャー」のような時代がくれば、現在・過去・未来を自由に行き来出来るようになり、「後悔」という言葉自体が存在しなくなってしまうかもしれません。時間のことを考えていると、『双子のパラドクス』って何かあったなあ～と、おぼろげな記憶が甦ってきましたが、かなり脱線して、元の話に戻れなそうなので、やめておきます。(数分後に後悔しないように……)

そんな私はほぼ毎日、後悔と言うか反省しっぱなしです。何故、あんな些細なことで腹を立ててしまったんだろう!? 何故、飲み過ぎてしまったんだろう!? 何故食べ過ぎてしまったんだろう!? 何故、やると決めていた勉強・運動をしなかったんだろう!? 何故、Amazonのお薦めに出てくる書籍をつい買ってしまったんだろう!? これ以外にもまだまだあります。皆さんはどうですか? よくネットニュースにもなっている「人生の最

後、後悔していること」のようなランキングがあったりします。とても参考になると思いますが、第 1 位は「もっと、挑戦しておけばよかった！」のような多くは欧米のアンケートなので、私たちの価値観とは違う部分があるのかなぁと思います。今回は日本人シニアを対象にしたアンケートを載せている、『ダイヤモンド』と『女性セブン』の記事から抜粋しようと思います。シニア男性（65 歳以上）1 万人の 50 代のうちにやっておけばよかったこと、第 3 位はアイデンティティーの喪失。何か難しい表現ですが、要するに〇〇会社の部長みたいな肩書を捨てて、素の自分で生きていくことをしておけばよかったということのようです。第 2 位はモチベーションの低下。50 代になると役職定年があったり、年収が下がったり、以前の部下が上司になったりと、仕事に対するモチベーションが下がってしまう要因が多いので、仕方のないことのようにも思えますが、モチベーションを維持出来なかったことを、かなりの男性が後悔しているようです。そして第 1 位は定年後の人生設計。仕事に忙殺されてしまい、気が付けば 60 歳定年。定年になってからゆっくり考えようと多くのシニアは考えていたようですが、50 代のうちから考えておけば良かったと後悔しているようです。

次に、シニア女性（65 歳以上）600 人の若いうちにやっておけば良か

ったと後悔していること、第3位は資格を取っておけばよかった。何か自分が一生懸命取り組んだ証のようなものを持っておきたい、と言う気持ちがあるようです。第2位は趣味を作っておけばよかった。子どもの手が離れると時間が出来るので、何か没頭できる趣味があればよかったと後悔するそうです。そして第1位はもっと子どもに寄り添った子育てをすればよかった。子どものためと思って頑張っていたが、近視眼的になっていたことに後で気が付いて後悔してしまうそうです。とまあ、老若男女世の中後悔ばかりですが、より良い人生のために後悔を糧にする方法はあるようです。本題に入るまでの前置きがいつも通りまあまあ長くなってしまい反省するばかりですが、このタイミングで私から今回のコラムの本題、投資のタイミングについてお伝えしたいと思います。お付き合いください。

やっと本題、ここからは投資のタイミングになります。結論を言います。投資に適したタイミングは『無い』あるいは『今』です。過去に遡ってあの時が良かったと言うことは出来ます。まるでトランプ元大統領がモデルとなった、バック・トゥー・ザ・フューチャーⅡのビフ・タネンが未来から持ち帰ったスポーツ年鑑でことごとく賞レースを当てたように。で

すが、現実には不可能です。前置きで記したように、多くは後悔の連続です。つまり、タイミングを考えることは不可能とということです。その至極当たり前の現実を理解した上で、投資において大切なこと、それは期間です。期間をどれくらい長くとることが出来るか、とということです。そう言う意味で、先に記したように投資のタイミングは『無い』あるいは『今』なのです。具体例でご理解ください。100万円を18年間・年2%複利で運用した場合、18年後100万円が142万円になります。（計算方法は以前同封したコラム『人類史上最大の発明を使った・資産形成術』をHPにてご確認ください。）次に100万円を36年間・年2%複利で運用した場合、36年後100万円が200万円になります。気が付きましたか？同じ元本、同じ運用実績で期間が18年から36年に2倍になると、運用成果は倍以上（+42万円・18年間、+100万円・36年間）になっています。

『今』のタイミングを逃してしまい、18年しかどうしても期間が取れない人が仮に倍の200万円を元金にして18年間・年利2%複利で運用した場合、18年後に200万円は285万円になります。倍の元金を準備したにも関わらず、期間を倍にした人には運用成果では負けてしまいます。ひとつ前の資産形成コラム『Time is Money』で示したように、TimeはMoneyよりも価値があると言ったことの再確認になります。

最後に、タイミングは『今』は分かったけど、そもそも何故投資をし

ないといけないのか？の素朴な疑問に答えて終わろうと思います。それは、国が推奨しているからでも、数年前に流行ったアベノミクスにより株価が上昇しているからでも、銀行金利が低すぎるからでも、単純にお金が殖えたら嬉しいからでも、もちろん金融機関が儲かるからでもありません。

過去36年間、日本はお金の価値が下がってしまっているからです。事実を列記します。私が生まれた1980年から2016年までの36年間で、『はがき・東京メトロ・国家公務員の月収・国立大学の授業料』の4項目の金額、はがき（1980年20円→2016年52円）、東京メトロ初乗りチケット（80円→170円）国家公務員初任給・上級＝総合職（101,800円→207,900円）国立大学授業料（180,000円→535,800円）です。36年間でほぼ2倍になっています。以前お伝えした『72の法則』で計算すると毎年2%物価上昇していることになります。もちろん、これよりもっと物価上昇しているものもありますし、衣料品や土地価格のように下落しているものもあります。他の先進国ほどの物価上昇ではありませんが、生活必需品や日用品、食品についても同じく過去と比べてかなりの物価上昇になっていますので、やはりそれに見合った資産形成は必要になってきま

す。ついでに、2021年、1年延期され開催まであと1ヶ月となった東京オリンピック・パラリンピック2021、57年前の1964年開催時には50円（今より1周り大きなコイン）でラーメンが食べられたそうです。私がか子どもの頃は100円あればジュースやおやつが近所の〇〇ストアで買えていました。100円玉を貰うととても嬉しかった記憶があります。とまあ、過去を懐かしんでばかりでは前に進めませんので、もう一度あの名作に登場してもらって締めたいと思います。

バック・トゥー・ザ・フューチャー（多用し過ぎ？）のような**夢**の時代がくるのを待って資産価値を下げ続けるか、投資のタイミングより期間が大切と言う**事実**を理解し行動するかで、将来の後悔を1つ減らしませんか？そして、お金の価格ではなく価値を下げない資産保全に今から取り組みませんか！！

おまけ：自動車（初代カローラ・約50万）、ガリガリ君、ブラックモンブランもかなり値上がりしていますよ～！調べてみたら結構面白いですよ。逆にうまい棒は未だに10円。毎日のように通っていた駄菓子屋が懐かしいです。

本社登録不要

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟